

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190575009001	科目番号 / Course code	05750090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 11311_032		
授業科目名 / Course title	日本事情 / Japanese Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岩下 真澄 / Iwashita Masumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岩下 真澄 / Iwashita Masumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岩下 真澄 / Iwashita Masumi		
科目分類 / Course Category	留学生用科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masumi430@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	masumi430@gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	masumi430@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では日本語で調べたり、まとめたり、発表したりする。あるテーマについて調べてきたことをまとめ、発表する。グループで協力して日本語を使って表現する。		
授業到達目標/Course goals	ディスカッションを通して長崎の文化と歴史、社会について学ぶ。グループでの活動を通して日本語の運用力を高め、協調性と柔軟性を身につける。長崎や日本だけでなく、他のところから来ている留学生の国や地域のことを理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 (5点×5=25点) + プレゼンテーション課題 (25×2=50点) + レポート課題 (15点) + 授業への取り組み (15点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習・課題として与えられた課題を期日までに、提出する。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	新聞のほか、適宜プリントを配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	長崎の「祭り」について調べる
第3回	ふるさとの「祭り」について調べる
第4回	「祭り」に関するプレゼンテーション
第5回	新聞を用いた活動 (日本の新聞を知る)
第6回	新聞を用いた活動 (日本の新聞記事を読む1)
第7回	新聞を用いた活動 (日本の新聞記事を読む2)
第8回	課外活動のための準備 (テーマや具体的課題を決める)
第9回	課外活動 (長崎市内企業見学)
第10回	課外活動のまとめ・プレゼンテーション
第11回	エッセイを用いたディスカッション (導入)
第12回	エッセイを用いたディスカッション (1)
第13回	エッセイを用いたディスカッション (2)
第14回	エッセイを用いたディスカッション (3)
第15回	授業全体のまとめ・自己評価・他己評価

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190589000501	科目番号 / Course code	05890005
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 11111_032		
授業科目名 / Course title	日本語上級 / Advanced Japanese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
科目分類 / Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumiko-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟 2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	819-2242		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜 5限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(特に読解能力)を習得する。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代日本社会について書かれた様々な文章を読み、日本の社会・文化について理解を深める。 2. 上級レベルの文法や語彙・表現を習得し、文章を正確に理解する能力を獲得する。 3. 読解文の内容について自分の意見が述べられるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加の積極性10%、宿題10%、小テスト10% テスト70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の最初に毎回小テストを行う。事前に教科書の本文を読み、語彙の確認を行っておくこと。1課終了ごとに宿題を課す。		
キーワード / Keywords	上級レベル、読解能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	『学ぼう! 日本語中上級(日本語能力試験N1対応)』 専門教育出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	日本語能力試験2級合格相当、または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	小テスト・ 第1課 : 清潔好きの日本人・ディスカッション
第3回	小テスト・ 第2課 : 少子高齢化の現状と対策 ・ ディスカッション
第4回	小テスト・ 第3課 : お互いのコミュニケーションのために ・ ディスカッション
第5回	小テスト・ 第4課 : 古来の知恵か風習か ・ ディスカッション
第6回	小テスト・ 第5課 : 日米の大学生はどこが違う ・ ディスカッション
第7回	小テスト・ 第6課 : 社会保障という備え ・ ディスカッション
第8回	テスト?@ ・ 応用読解
第9回	小テスト・ 第7課 : 少年犯罪における匿名報道の是非 ・ ディスカッション
第10回	小テスト・ 第8課 : 日本的な経営慣行と新時代の到来 ・ ディスカッション
第11回	小テスト・ 第9課 : 働く人のボランティア活動 ・ ディスカッション
第12回	小テスト・ 第10課 : 都市から地方へ、人は移り住む ・ ディスカッション
第13回	小テスト・ 第11課 : 生産に必要な水とエネルギー ・ ディスカッション
第14回	小テスト・ 第12課 『江戸しぐさ』と現代人のモラル ・ ディスカッション
第15回	テスト?A・ 応用読解

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190589000801	科目番号 / Course code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 21211_032		
授業科目名 / Course title	日本語上級 a / Advanced Japanese a		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nenecha_n@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	nenecha_n@yahoo.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午後、またはEメールにより質問を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の大学で学ぶために必要なあらゆる場面の日本語表現を課題を通して学んでいく。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・メモの取り方やレポートの書き方など、大学生活に必要な日本語表現能力を身につけることができる。 ・これまで日本語の授業で学んだ敬語を実際に使いこなせるようになる。 ・これまで学んだ日本語を実際の大学・社会生活で活用できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	課題 (50% : 翌週提出したら1点、一週間遅れたら 1/2 点、二週間以上遅れたら0点です。) 授業への取り組み (30% : 出席が 2/3 以下の場合は成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。) 発表等 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回、課題や授業内で使用したトレーニングシートを提出しなければならない。		
キーワード / Keywords	上級レベル、書き方、基本、適切		
教科書・教材・参考書 / Materials	橋本修 / 安部朋世 / 福嶋健伸 [編著] 『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	予定の授業内容の範囲を読んで、理解しておくこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43565	オリエンテーション・第1章
43572	第2章・第3章
43579	第3章・第4章
43593	第5章・第6章
43600	第7章・第8章
43607	第9章・第10章
43614	第10章
43621	第11章・第12章
43628	第12章・第13章
43635	第13章・第14章
43642	第14章・第15章
43649	第15章・第16章
43656	第16章・第17章
43663	第17章・第18章
43670	第18章・第19章

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190589000802	科目番号 / Course code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 21211_032		
授業科目名 / Course title	日本語上級 a / Advanced Japanese a		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Regular under-graduate international students and International exchange students (under-graduate students)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Liberal Arts Education Building (B, 2nd floor)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Thursday 5th hour (16:10-17:40)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	1. Developing the following skills needed to study in Japanese colleges: (1) Japanese language skills, (2) Interpersonal/Interpretive/Presentational communication skills, and (3) Problem solving skills 2. Acquiring the effective learning cycle (preparation, attending classes and review)		
授業到達目標/Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Your grade will be computed as follows: (1) Attendance and Participation 【5pts】 (2) Assignments 【40pts】 (3) Mid-term Exam 【20pts】 (4) Final Exam 【20pts】 (5) Shadowing Practice and Test 【15pts】		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	Stereotypes, Japan, Japanese People, Diversity		
教科書・教材・参考書 / Materials	KONDO Atsuko and MARUYAMA Chika, Abroad In Komaba, The University of Tokyo (2008) "For Pre-Advanced and Advanced Learners of Japanese: Images of Japan, 2nd Edition, Text" University of Tokyo Press. 2,400 yen (tax excluded)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> Regular under-graduate international students who were permitted to take this level courses. International exchange students who were permitted to take this level courses. You must attend the first class session (course orientation). You must attend two classes in a row (3rd hour and 4th hour). 		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	Student Accessibility Office [http://www.sao.nagasaki-u.ac.jp/] LACS [https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/]
学生へのメッセージ/Message for students	You're suppose to take and submit your assignments through LACS (a kind of LMS). You can also see your current grade points of this course on LACS.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Course Orientation About Shadowing Practice
2nd	Writing E-mails Expressions for Giving a Presentation (1) Expressions for Academic Writing (1)
3rd	Expressions for Giving a Presentation (2) Expressions for Academic Writing (2)
4th	Mid-term Exam "Images of Japan and Japanese People"
5th	Subject A: "女性の生き方" (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
6th	Subject A: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions (5) Grammar & Vocabulary Exercises
7th	Subject B: "子どもと教育" (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
8th	Subject B: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions
9th	Subject B: (5) Grammar & Vocabulary Exercises
10th	Subject C: "若者の感性" (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
11th	Subject C: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions
12th	Subject C: (5) Grammar & Vocabulary Exercises
13th	Subject D: "日本の外国人" (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
14th	Subject D: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions
15th	Subject D: (5) Grammar & Vocabulary Exercises
16th	Review & Final Exam

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190589000802	科目番号 / Course code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 21211_032		
授業科目名 / Course title	日本語上級 a / Advanced Japanese a		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	正規学部留学生, 非正規学部留学生 (学部交換留学生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟 (2階東奥)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日5校時 (16:10-17:40)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の大学で学ぶために必要な日本語力, 情報伝達力, 問題解決能力などを身につける。 ・授業の他に, 予習と復習にも重きを置き, 効果的な学習サイクルを身につける。 		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・中上級レベルの文章を正確に理解し, まとめ, それを他者に正確に伝えられるようになること。 ・能動的に考えられるようになること。 ・自他の文化, 考え, 言語への理解を深めた後, その背景の分析や, 問題解決ができるようになること。 ・効果的なプレゼンテーション (情報伝達) ができるようになること。 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	以下, 合計100点のうち60点以上を合格とする。 (1) 授業への取組み【5点】 (2) 宿題【40点】 (3) 中間試験【20点】 (4) 期末試験【20点】 (5) シェadowイング【15点】		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	ステレオタイプ, 日本, 日本人, 多様化		
教科書・教材・参考書 / Materials	『中・上級日本語教科書 日本への招待 (第2版): テキスト』 (東京大学AICOM日本語プログラム・近藤安月子・丸山千歌 (編著), 東京大学出版, 2,400円 (税抜))		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・プレースメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・プレースメントテストで受講を認められた非正規学部留学生 (交換留学生) ・初回のオリエンテーションに参加すること ・木曜日の3校時目と4校時目の両方に出席すること 		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	アシスト広場 [http://www.sao.nagasaki-u.ac.jp/] LACS [https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/]
学生へのメッセージ/Message for students	LACSを利用して、宿題を受け取ったり、提出したりします。 LACSでは、現在の自分の評価をチェックすることもできます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月11日）	オリエンテーション シャドーイング導入
第2回（4月18日）	メールの日本語 プレゼンテーションの日本語（1） レポートの日本語（1）
第3回（4月25日）	プレゼンテーションの日本語（2） レポートの日本語（2）
第4回（5月9日）	中間試験 「イメージの日本・日本人」
第5回（5月16日）	テーマA「女性の生き方」 資料1-3の情報共有とディスカッション
第6回（5月23日）	テーマA 資料4-5の情報共有とディスカッション まとめ、語彙・文型の理解と練習
第7回（5月30日）	テーマB「子どもと教育」 資料1-3の情報共有とディスカッション
第8回（6月6日）	テーマB 資料4-6の情報共有とディスカッション
第9回（6月13日）	テーマB まとめ、語彙・文型の理解と練習
第10回（6月20日）	テーマC「若者の感性」 資料1-3の情報共有とディスカッション
第11回（6月27日）	テーマC 資料4-5の情報共有とディスカッション
第12回（7月4日）	テーマC まとめ、語彙・文型の理解と練習
第13回（7月11日）	テーマD「日本の外国人」 資料1-3の情報共有とディスカッション
第14回（7月18日）	テーマD 資料4-5の情報共有とディスカッション
第15回（7月25日）	テーマD まとめ、語彙・文型の理解と練習
第16回（8月1日）	まとめ「多様化する日本・日本人」 期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190589001101	科目番号 / Course code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 21221_032		
授業科目名 / Course title	日本語上級 b / Advanced Japanese b		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
科目分類 / Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumiko-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟 2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	819-2242		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 5限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力を習得する。		
授業到達目標/Course goals	上級レベルの様々なテーマの文章を多読し読解能力を高めるとともに、学習したテーマについて他者の意見を聞きながら自分の意見を的確に述べられるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への貢献度10%、課題20%、テスト50%、発表等20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書本文の内容について事前にチェックしておくこと。		
キーワード / Keywords	上級レベル、読解能力、ディスカッション能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	留学生のための時代を読み解く上級日本語 第2版』スリーエーネットワーク		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	日本語能力試験 2級合格相当、または日本留学試験 (日本語科目) 200点相当の日本語能力を有する留学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。 履修登録者数によって、内容を一部変更することがある。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション等
第2回	第1課 生活 : 輝く女性とは何なのかー「女性活躍」の現場 / 応用読解・グループワーク
第3回	第1課 生活 : 社内結婚、「企業が後押し」 / 応用読解・グループワーク
第4回	第2課 少子高齢社会 : なぜ少子化が問題なのか / 応用読解・グループワーク
第5回	第2課 少子高齢社会 : 買い物弱者 / 応用読解・グループワーク (課題1提出)
第6回	課題1の内容に関するシェアとディスカッション / 応用読解・グループワーク
第7回	第3課 教育 : 学歴とは別のものさしで / 応用読解・グループワーク
第8回	第4課 企業と労働 : 日本型雇用システム(1) / 応用読解・グループワーク
第9回	第4課 企業と労働 : 日本型雇用システム(2) / 応用読解・グループワーク
第10回	第4課 企業と労働 : 日本的性別分業とM字型雇用カーブ / 応用読解・グループワーク (課題2提出)
第11回	課題2の内容に関するシェアとディスカッション / 応用読解・グループワーク
第12回	第5課 科学技術と人間 : ビッグデータ社会 / 応用読解・グループワーク
第13回	第5課 科学技術と人間 : 本当に「原発は安い」のか / 応用読解・グループワーク
第14回	第6課 環境と人間 : タバコのもたらすもの / 応用読解・グループワーク (課題3提出)
第15回	読解テスト / 課題3の内容に関するシェアとディスカッション

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190589001102	科目番号 / Course code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEX 21221_032		
授業科目名 / Course title	日本語上級 b / Advanced Japanese b		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	溝部 エリ子 / Mizobe Eriko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	溝部 エリ子 / Mizobe Eriko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	溝部 エリ子 / Mizobe Eriko		
科目分類 / Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	erico27_nifty.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	「非常勤講師控室」		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	erico27@nifty.com		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	抽象度の高い素材から獲得した情報を基に日本語の知識を活用し、課題遂行のための日本語能力の構築を図る。客観的視点から主張を表現できる包括的コミュニケーション能力の育成を目指す。		
授業到達目標/Course goals	自分の関心事で、馴染みのある様々な事柄を直線的に並べ、要点を伝達する仕方考えることができる。文脈から手がかりを発見し、意味や意図を推測することができる。場面や聞き手に応じて内容や話し方を調整することができる。社会的な関係を維持するための雑談、相談、意見交換などができる。自分の発話をモニターし、誤りを修正したり、言い直したりすることができる。共同作業の中で、必要な、実質的な情報を交換することができる。自分の専門や興味のあることに関して、事前に用意されたプレゼンテーションができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	以下の6つで総合的に評価する。 1. 授業への取り組み (15%) 2. 課題確認小テスト (5% × 4 = 20%) 3. レポート課題 (5% × 5回 = 25%) 4. 中間プレゼンテーション (10% × 2 = 20%) 5. 最終プレゼンテーション (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前に課題を読み、概略を理解しておくこと、授業後は次回の振り返りのために課題の要点整理を行うこと。		
キーワード / Keywords	ピアラーニング・コミュニケーション能力・プロフィシェンシー・アウトリーチ・語用論的視点		
教科書・教材・参考書 / Materials	毎回ハンドアウトを配布する。また、随時参考文献は授業中に紹介する。『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション』参考図書 (近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子) ココ出版ほか		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	・プレースメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・プレースメントテストで受講を認められた非正規学部留学生 (交換留学生) ・木曜日の3校時目と4校時目の両方に出席すること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「日本語で自分を相手にどう見せるのか」という視点から、日本語の力を高めて行きましょう。また、円滑な人間関係を築くための日本語を考えていっしょに考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43747	オリエンテーション・自己紹介1・ルーブリックの作成
43748	エニアグラムによる自己分析1
43755	ケーススタディ1・エニアグラムによる自己分析2
43762	ケーススタディ1の振り返りとディスカッション・確認小テスト1・エニアグラムを踏まえた自己紹介2
43769	ケーススタディ2・ストーリーテリングを学ぶ
43776	ケーススタディ2の振り返りとディスカッション・確認小テスト2・ストーリーテリングを活用する
43783	プレゼンテーション1・ピアレビュー1
43790	ケーススタディ3・KJ法の手法を学ぶ
43797	ケーススタディ3の振り返りとディスカッション・確認小テスト3・KJ法による情報の整理と分析1
43804	ケーススタディ4・質問紙法を学ぶ
43811	ケーススタディ4の振り返りとディスカッション・確認小テスト4・質問紙法の作成
43818	プレゼンテーション2・ピアレビュー2
43474	ケーススタディ5・KJ法による情報の整理と分析2
43481	ケーススタディ5の振り返りとディスカッション
43488	最終プレゼンテーション準備・ルーブリックによる評価
43495	期末試験：プレゼンテーションと考察